

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの根拠を明確にしつつ、他者との交流を通してものの見方・考え方を広げること。 課題を解決するうえで、情報の取捨選択を行い、必要な情報を整理すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書の授業を通して、本文にある言葉を根拠とし、自分の思いや考えを交流させる。 ICTを活用したグループ活動を実施し、生徒が互いの意見を効率よく把握できるようにする。 	9月以降の授業で実践予定。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 説明中心型の授業 1時間ごとにぶつ切りで断片的な知識となりがちであること。 資料をもとに読み取ったり考えたりしたことを表現する活動を充実させること。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用の一層の推進。 「問いの構造化」と「単元を貫く課題」を意識した授業と評価（パフォーマンス的課題の実践と評価の継続） 	1学期から取り組みを実践中
数学	数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養うこと。	各単元等で身のまわりで使われている数学を扱い、生活に生かそうとする態度を養う。家庭学習をより一層充実させるとともに、粘り強く考える力を身に付ける。	実践中
理科	全国学力調査の結果より、知識技能に関する内容の向上を図るべく既習内容の確認を実施すること。	ガスバーナーなど実験に使用する器具を各学年で繰り返し使用し、技能習得に努めるとともに、小学校等で既習済みの内容を機会があるごとに再確認する。	実践中
音楽	音楽を聴いて自分の考えや、楽譜から読み取ったことを音楽や言葉で表現する力の育成すること。	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで反復練習による基礎・基本の徹底。 掲示物の工夫。 ICT機器の活用。 	実践中
美術	<p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作時に完成までの見通しをもって制作をすること。 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現との関連を図りながら作品を通じて見方や感じ方を深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作する作品に関連させた鑑賞の作品を設定する。 ICT機器を活用し事前に撮影した手元の動画を視聴し制作に見通しをもたせる。 ICT機器を活用し、学習の振り返りを行い、毎時間の学びを蓄積できるようにする。 	実践中
保健体育	生徒の思考力、判断力、表現力をより育むこと。	合理的な課題解決に向けて運動の取り組み方を工夫できるようポートフォリオ形式の学習カードを用いる。また、評価方法を再検討する。	実践中
技術家庭	<p>【技術】</p> <p>生徒間で発生する作業進度の差に対する丁寧な対応をすること。</p> <p>【家庭】</p> <p>製作実習における作業進度の個人差へ対応すること。</p>	<p>【技術】見通しがもてる生徒には、相応の資料を用意し、難しい生徒に個別の支援を行う。それを可能にするために効果的にICTを活用する。</p> <p>【家庭】机間巡視や作業カードによる作業進度の把握→授業中の教え合い活動の実施。</p>	<p>【技術】実践中</p> <p>【家庭】作品を期限までに完成、提出する生徒が増えた。</p>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 書く力を養うこと。（英語の綴り間違いが多く見受けられる。） 音と文字の連動をはかること。 	<ul style="list-style-type: none"> 英文を書く際の基本的なきまりを意識させる。特に日本語とは異なる点（ピリオド、複数形）などを意識させる。 英文を添削した際に見られる共通の間違いに関しては全体にも繰り返し指導をする。 単語テストやディクテーションテストを授業内で取り入れ、学習習慣を身に付けさせる。 	実践中